

2025 年 4 月 1 日

各 位

株式会社北洋銀行

釧路市の ILO 産業分析を行いました ～地域の課題と優先的に強化すべき産業・成長戦略を提言～

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、ルートエフ株式会社(代表取締役 大庫 直樹 本社:東京都)と共に実施した、釧路市の「ILO 産業分析」(※)の提言を行いました。

北洋銀行と釧路市は、2015 年に地域経済の活性化に資する事業などの実施において、積極的な連携および協力を行う協定を締結しております。今般の ILO 産業分析では、国際バルク戦略港湾である釧路港を活用した動物飼料等の輸入強化と道東方面全域の畜産・酪農業への波及効果や、当地主力産業である水産加工業の持続的な発展を図るための冷凍・冷蔵施設の重要性が今後一層増すとともに、豊富な観光資源や乳製品、特色のあるものづくり企業の付加価値増加に向けた取組が必要となることを提言としてとりまとめました。

当行は、広域や同規模都市の比較モデル構築に向けた産業分析を通じて、北海道の地方創生に貢献して参ります。

※ILO 産業分析とは、域内の産業を「Inbound 型・他地域から需要を呼び込む」「Local 型・地産地消」

「Outbound 型・他地域市場を狙う」に分け付加価値を分析し、地域の産業別特徴や成長産業を明確化する分析手法。内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より、『地方創生に資する「金融機関等の「特徴的な取組事例」』に採択・表彰を受けるなど高い評価を得ております。

〈2025 年 3 月 28 日 提言書を、釧路市鶴間秀典市長にお渡ししました〉



左 釧路市 鶴間秀典市長

右 北洋銀行釧路中央支店
執行役員支店長 牧田知也

以 上



北洋銀行グループは、2018 年 12 月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015 年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための 2030 年までの国際目標。17 のゴールと 169 のターゲットで構成される。